

さわやかワークセンター

令和元年度事業報告（4月1日～9月30日）

1. 運営方針

- ・ 就労に向け、希望を失わず、1人ひとりが明るくさわやかに作業や訓練に取り組み、自信をもって就労に踏み出し、仕事を続けながら地域で暮らし続ける場と機会を提供します。

2. 職員等配置(9/30現在)

職員 11名・非常勤職員 20名 合計 31名

3. 今年度の重点目標に対する取り組み状況

法人重点推進事項		(1) 質の高い支援（虐待防止、権利擁護） (4) 既存事業の機能強化	回数・日付	人数
1	就労や地域生活の安定を目指して関係機関との連携を強化し「切れ目のない支援」を実現する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就労定着支援事業 ・ 計画相談面談同席(さんさん幸陽) ・ 就労促進担当者会参加 ・ 就労移行支援事業所連絡会参加 ・ 就労移行支援新規利用者開拓の取組みとして関係機関との連携 ・ 施設利用希望実習受入 	- 随時 6回 3回 随時 0回	8名 - 2名 1名 - 0名
法人重点推進事項		(1) 質の高い支援（虐待防止、権利擁護） (4) 既存事業の機能強化	回数・日付	人数
2	持続的・生活可能な収入(就労賃金・工賃)の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペーパーポ作業(新規) ・ おおむすび縁市場販売ポ-ト ・ 新規受託作業準備打合せ 	週2回 9回 随時-	12名 3名 -
法人重点推進事項		(1) 質の高い支援（虐待防止、権利擁護） (4) 既存事業の機能強化	回数・日付	人数
3	生活の場の確保と個別支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループホーム利用希望者への情報提供、サービス利用への支援 ・ 高齢利用者への介護保険サービスの情報提供、サービス利用への支援 	随時 随時	2名 1名

法人重点推進事項		(1) 質の高い支援（虐待防止、権利擁護） (4) 既存事業の機能強化	回数・日付	人数
4	飲食事業の拡大	内容 ・ティーラウンジ すばる営業開始（4月1日） ・ティーラウンジ すばる 月平均売上 622,957円 ・カフェモ月平均売上 1,129,271円 （前年同期 1,370,240円）		
法人重点推進事項		(2) 活力ある組織・経営基盤づくり (3) 地域公益活動の推進	回数・日付	人数
5	公益的取組の拡充	内容 ・体験型学習支援事業『れいんぼう大森』の活動をサポートし、フードバンクからお米を試行的に受け入れ食を通したプログラムに寄与 ・地域防災パトロール	6回 6回	

*リニューアル後（10月1日）のティーラウンジすばるの売上向上を図る。

4. 利用者受入等・平均工賃 *日数・%等は前年同期比

	定員	開所日数	平均利用者数	稼働率		利用率	
就継B型	34人	125日(-3日)	36.6名	106.1%	-2.9%	83.0%	+1.1%
就労移行	6人	125日(-3日)	8.2名	139.2%	+21%	89.8%	+10.7%
就継B型	平均工賃月額		33,924円	前年度	35,496円	-1,572円	
就労移行	平均工賃月額		34,070円	前年度	30,243円	+3,827円	

※平均利用者数＝全利用者の年間延利用日数÷開所日数（小数点第2位以下切り上げ）。

※稼働率＝年間利用者延べ数÷（定員×開所日数）

※利用率＝年間利用者延べ数÷（在籍数×開所日数）

*就労移行利用者の就労者3名

5. 年間行事

4月	花見会（樹林館との合同開催）利用者46名参加
5月	リフレッシュDo（ボートリング）利用者29名参加
6月	リフレッシュDo（クッキング）利用者18名参加
7月	リフレッシュDo（カラオケ）利用者19名参加
8月	リフレッシュDo（カラオケ）利用者22名参加
9月	リフレッシュDo（ダンス）利用者23名参加

6. 地域公益活動の推進

実施項目	具体的取組の内容	回数・日付	人数
------	----------	-------	----

1	地域まつり	・第12回蓮沼ふれあい祭実行委員会実施	2回	2名
2	食糧等配達	・「コスモ苑」へ月1回食糧等を配達	6回	2名
3	コミュニティスペース運営	・食堂をコミュニティスペース「茶和や」として地域へ開放	毎日	-
4	広報誌活動等	・「さわやか通信」1回発行（4月9月）	2回	-

*蓮沼ふれあい祭10月開催に向けて準備を進める。

7. 地域・関係機関連携

	実施項目	具体的内容	回数・日付	人数
1	地域交流・連携	・第12回蓮沼ふれあい祭企画、運営（事務局） ・地域防災パトロール参加（月2回） ・西蒲田二・三丁目自治会防災活動拠点会議参加	3回 12回 3回	2名 1名 2名
2	福祉人材受入	・社会福祉士、相談支援実習受入 ・中学生職場体験受入（すばる） ・大田区社会福祉協議会夏体験ボランティア受入 ・作業補助ボランティア受入	3回 2回 0回 毎週	3名 4名 0名 2名
3	広報活動等	・「さわやか通信」1回発行（4月9月）	2回	-

*昨年度に引き続き東京工科大学医療保健学部の学生と11月にスポーツ大会を実施予定。

8. 人材確保・育成とサービスの質向上の取り組み・研修

目的：職場の研修ニーズアセスメントに基づき、専門職としてのキャリア形成を念頭に人材育成

	実施項目	具体的取組の内容	回数・日付	人数
1	OJT・職場内研修	OJTチェックシート実施、キャリア形成シート、事例検討会議（支援会議内にて実施）	6回	9名
2	外部研修	障害者虐待防止研修（区） 福祉・介護職員等特定処遇改善加算説明会 防火防災管理者講習 東京都社会福祉協議会「初任者研修」消費税軽減税率制度説明会 3年目職員研修 相談支援現任研修 セルフ商品販売力向上セミナー	10回	13名
3	自己研鑽支援	・外部研修の情報提供（研修資料の回覧） ・ニーズアセスメントとして、本人の希望の研修と本人に適切と思われる研修の推薦を実施した	随時	-

9. 権利擁護・虐待防止の取り組み

	実施項目	具体的取組	回数・日付	人数
1	虐待防止 権利擁護	障害者虐待防止研修（区）	3回	3名

2	苦情解決	「苦情解決制度に関する要綱」に基づいて適切に対応	1回	6名
3	個人情報保護	「個人情報保護規程」および「特定個人情報取扱規程」に基づいて適切に対応	7回	7名

*DET 研修をもとに、権利擁護について事業所課題の洗い出しを行った。課題解決に向けての定期的な取り組みを実施していく。

10、法令遵守に関する取り組み

	実施項目	具体的取組	回数・日付	人数
1	法令遵守	法令遵守推進に関する関係法令・条例・法人諸規定等に基づき適切に対応	1回 1回	12名 20名
2	「働きやすい職場」づくり	「TOKYO 働きやすい福祉の職場宣言」の継続した取組推進及び、「働き方改革」に対応した法人の取組との連携	6回	8名

11、危機管理

	実施項目	具体的取組	回数・日付	人数
1	防災関連	・ 防災訓練実施 ・ 西蒲田二・三丁目自治会防災活動拠点会議参加	6回 1回	50名 2名
2	緊急時対応	「緊急時対応マニュアル」により対応することを職員間で共有		

12、その他

平成30年度 第三者評価受審結果よりさらなる改善が望まれる点への取組

タイトル1	ミーティングや会議での検討・決定した結果について、支援マニュアルにつなげていくことが期待される
内容	法人の各種間にマニュアルを前提に事業所独自の支援方法等をマニュアル化できるように、ケア会議の記録は事例検討の書式に記録を実施。支援マニュアルとしてファイリングし活用できる方法を検討中。
タイトル2	事業所が求める人材像と職員の能力向上とを着実に結びつけるために、個別育成計画を策定し学びの機会を確保されたい
内容	自己評価表や自己申告書、職員キャリア形成シートに基づいて、スキルアップを望む事項を明確にした。今後、習得すべき業務内容や専門性等について認識の共有を図る。外部研修やOJTを実施し、学びの機会を提供した。
タイトル3	定年退職後の利用者にニーズが高まる中で、さらに特化したプログラム作成等に取り組みされたい
内容	利用者の年齢や状況に合わせた個別支援計画を作成し実施中。高齢者サービスの併用や移行への情報提供や支援を実施中。高齢向けのプログラムに関しては検討中。